

## 2024年春闘 物価上昇に負けない賃上げを！

### — 新年のごあいさつ —



執行委員長 杉原孝一

明けましておめでとうございます。  
2024年の新春を、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、JAM甲信の諸活動に対して、ひとかたならぬ御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続き宜しく願い申し上げます。

本年は『甲辰(きのえたつ)年』です。甲と辰が合わさる2024年は、辰年のキーワードである「変革(転機)」や「激動」が示すように、大きな出来事が起こると予想されます。株式相場では、天高くのぼる竜に守られる辰年は「強運」や「お金に困らない」といった言い伝えがあります。また辰年は景気が良くなると言われており、株式相場の格言として「戌亥の借金、辰巳で返せ」とあります。戌亥年でできた借金も、辰巳年で取り返せるという意味です。言い伝えではありますが、過去実際に株価が高値を付けていることから、景気回復を願い本年がこの格言のような素晴らしい一年になることを願うばかりです。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症に関しては、2類から5類へ移行され、さまざまな生活様式がコロナ前に戻りつつあるといえますが、いまだ感染の終息には至っておりません。またロシアによるウクライナへの軍事侵攻、10月に起きたパレスチナ・イスラエル戦争により、多くの民間人に被害等が出ており、世界経済にも大きな影響をもたらしています。為替は年初から円安に振れ11月には一時151円台まで達しました。その結果、原材料や食料品を輸入に頼っています日本においては多くの物が値上がりし、物価上昇も近年にない上げ幅となりました。また、企業業績においても円安の影響は顕著であり、輸出関連企業では利益が出ているものの、多くの中小企業では厳しい環境となっているのが実情です。

そのような中、2023春季生活闘争は、賃金の「底上げ」「底支え」「格差是正」に向け、賃金の絶対額を重視し賃金水準にこだわった要求の考えを基に、交渉に当たられた皆様が共に働く組合員の事を思い「人への投資」と月例賃金にこだわり粘り強い交渉をして頂いた結果、単純平均、加重平均共に過去最高水準の賃上げを実現することが出来ました。2024春季生活闘争も厳しい環境になると思われませんが、物価上昇に負けない賃上げを実現するため、前年を上回る取り組みを着実に進めて参りましょう。

一方、2025年に行われます第27回参議院議員・比例代表選挙ですが、共に働く仲間、労働者が安心して働くことができる環境を構築していくためにも、郡山りょう氏の必勝実現に向け運動を進めていきたいと思っておりますので、組合員皆様のご理解ご協力の程お願い致します。

組合員の思いが集まればそれだけ大きな力となり、職場課題の解決に向けた大きな一歩となります。私たち執行委員、各地区協議会幹事、書記局が「ONEチーム」として、職場の皆さんとのコミュニケーションを大切に、日常の世話役活動を通じて、安心・安全で働き甲斐・やり甲斐のある環境を皆様と共に築いていきたいと思います。

結びに、2024年においても皆様からのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年が、皆様にとって、明るく希望に満ちた年となりますよう、共に頑張ることをお誓い申しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



JAM甲信は、2023年11月18日（土）、茅野市のマリオローヤル会館で単組代表者と共済の事務担当者など47単組・支部95名を集め、JAM甲信・共済推進全体会議を開催した。自家共済・提携共済ともに昨年度の活動報告と2024年度の活動方針が提案され、全会一致で承認がされた。

第1部の全体会議でJAM甲信共済推進委員会の櫻井副推進委員長は、「今年の夏は史上最も暑い夏といわれ、近年では自然災害の発生頻度も高まっている。安心して生活していくには様々なリスクに備えることが必要となる。自家共済・提携共済とも現役世代の加入が減少している状況であるが、JAM共済の推進・加入について、単組で一層の取り組みをお願いしたい」と挨拶した。次に櫻井事務局長よりJAM共済の加入・給付の状況について説明がされた。

第2部の分科会においては、提携共済推進委員会

では、昨年のキャンペーンの表彰を行うと共に、マイカー共済の団体割引率の見直しによる推進を中心としたキャンペーンと、単組役員の保障点検を展開して、更なる保障の充実を図っていくことが確認された。また、自家共済推進委員会においては、本部・JAM甲信キャンペーンの周知を行い、単組役員の加入促進をはじめとした共済活動の更なる展開を図っていくことが確認された。



状況説明に耳を傾ける参加者（全体会議）

JAM甲信共済ユニオンは、2023年11月18日（土）の午後、茅野市のマリオローヤル会館で第10回定期総会と10周年記念式典を開催した。

JAM自家共済は、JAMの組合員資格を持った方が利用できる共済であり、JAM甲信共済ユニオンは、JAMの組合員であった方が退職された後も継続して、JAM自家共済を利用するために加盟頂い



記念式典に参加された皆さん

ている組織である。

第10回総会には役員・代議員の23名に加え、オブザーバーとして同日午前に関済推進全体会議に出席していた現役の単組役員12名も出席し、2023年度の活動報告、決算報告が満場一致で確認された。

続いて、第1号議案：2024年度活動方針案の他、全4議案について、満場一致で確認された。

総会後に開催された10周年記念式典にはJAM本部から滝上共済G長や、結成当時から役員を務められた役員の方々を来賓としてお招きし、総勢35名で旧交を温めるとともに10周年を祝った。

記念式典に参加された来賓、役員からは、「共済ユニオン自体は成り立ちからして自ら組合員の拡大を図ることが難しい。現役世代で自家共済の優位性を伝え、より多くの方に加入頂き、組合から離れたら共済ユニオンに加盟頂く流れを強力に推し進めてほしい」と異口同音に語られ、現役世代としても加入拡大の決意を新たにする機会となった。

JAM甲信ホームページにも最新情報満載！

<https://www.jamkoushin.com>

JAM甲信は2024年度の単組役員研修会Ⅰ、Ⅱを、岡谷市のライフプラザマリオで開催した。

第1回目は2023年9月23日（土）に「組合役員的心構えと賃金について」と題して開催し、22単組・支部から43名が参加した。前段の「単組役員の仕事と心構え」では小林組織部長が講師を務め、労働組合の意義と労働三法、組合活動の3本柱、執行



グループワークに取り組む参加者（第2回研修会より）

部役員の仕事について説明をし、後段の「賃金について」では櫻井書記長が講師を務め、賃金の定義と意義、平均賃上げ要求と個別賃金要求の違いの他、春闘交渉における要求の作り方について説明した。参加者からは「組合に興味を持ってもらえるように活動したい」「賃金について、自単組でもデータを分析し、活用したい」などの感想があった。

第2回目は「経営分析のすすめ」と題して同年11月11日（土）に開催し、23単組・支部から40名が参加した。佐野副書記長が講師を務め、企業の財務状況を平時より把握しておく重要性を説いた。研修会では財務諸表の見方を説明し、ある企業の財務諸表を題材にどのような経営状態にあるのか？を参加者それぞれが分析し、グループワーク・発表を通じ理解を深めた。

参加者からは「経営状況を理解することの大切さを学べた」「初めて経営分析を学習したが、今後理解を深め、活用できるようにしていきたい」などの感想が寄せられた。

JAM甲信は、2023年11月11日（土）岡谷市のライフプラザマリオにおいて、広報担当者を中心に8単組9名が参加して、広報セミナーを開催した。

本セミナーは初級編であり、午前中は講師の小林組織部長から写真の撮り方、文章の書き方とその見出しの作り方、取材の仕方や構成に至るまでの、広報紙作成の基本的手法が説明された。講義では、「記事を書く上で5W1Hは基本であり、その中でも『誰が』『どうした』を意識して、まずは記事を書いてみよう」と構成を考えて文章を書く重要性が説かれた。その後、合同演習として5W1Hに沿った文章構成や新聞記事を用いた見出し作成の演習を行った。

午後は、3つのテーマで受講者それぞれが広報紙を作成した。1つ目は自身が受講した「JAM甲信広報セミナー」、2つ目は参加者同士で取材をし合い記事にする「参加者紹介の記事」、3つ目は別フロアで同時開催していた「単組役員研修会Ⅱ・経営分析のすすめ」とし、実際に取材も体験した。取材

では、最初は戸惑う様子も見られたが、講師や参加者へのインタビューを行い、研修会の様子を記事にした。

受講者からは「記事を作成し読んでもらうために、見出しが重要であることが理解できた」「今回のセミナーを受講し、自単組でも広報紙の作成を始めるきっかけとしたい。今後活用していきたい」などの感想が寄せられた。



広報紙制作に取り組むセミナー受講者

# 2024政策実現活動・「郡山りょう」 甲信入りで決意を語る！

2023年9月15日に開催されたJAM甲信第25回定期大会にて「2024年度－2025年度政策実現活動に関する件」が第3号議案として承認され、2025年7月に予定されている第27回参議院議員・比例代表選挙における「郡山りょう組織内候補予定者・必勝に向けた取り組み」が始まりました。

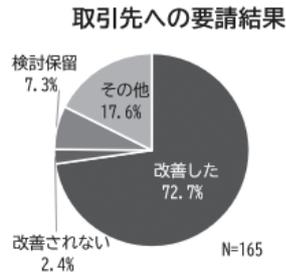
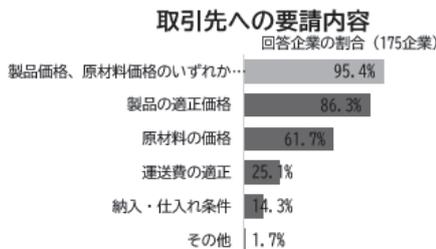
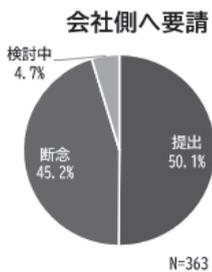
2023年11月20日～22日に甲信入りの第一弾として、上伊那地区協、中信地区協（松本・塩尻エリア）、山梨地区協の構成単組・支部を訪問し、「郡山りょう」組織内候補予定者が決意を語ると共に、単組役員の方々と意見交換を行いました。

## 甲信入り 訪問風景（抜粋）



# 2024春闘「価格転嫁」で賃上げ原資の確保！ 物価上昇に負けない賃上げを！

## 【価値を認めあう社会へ】

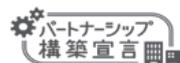


出所：2023年度「価値を認めあう社会へ」第3次集約報告

### 価格転嫁の成否と賃金改善

価格転嫁と賃金改善額	価格転嫁 できていない	価格転嫁 できている	差額 できているーできていない
賃金改善額（単組数）	4,602円（279）	5,239円（83）	+637円
平均賃上げ額（単組数）	8,620円（279）	9,732円（83）	+1,112円

出所：JAM「2023春闘総括」



現在の登録数  
(2023.9.13現在)  
32,255社  
うちJAM加盟企業  
208社

## — お知らせ —

### ■ JAM甲信 第25回地方委員会・ 政策制度討論研修会

- 日時  
2024年1月27日（土）  
10時から
- 場所  
ライフプラザマリオ  
（岡谷市）

多くの皆さまの  
ご参加をお願いします。